

北朝鮮の対日有害活動

情勢

北朝鮮国内では、平成27年中、^{ヒョンヨン Chol}玄永哲 人民武力部長（当時）やその他の幹部に対する粛清報道がみられました。この粛清動向は、不満分子の排除による^{キムジョンウン}金正恩政権の権力基盤の盤石化を企図している可能性があります。その一方で、「朝鮮労働党創建70周年」の関連行事等様々な場面で、金正恩第一委員長の「人民愛」を強調するなど、親しみやすい指導者像を演出する動向もうかがわれました。

対外的には、米韓合同軍事演習に対抗する形で3月に**弾道ミサイルを発射した**ほか、5月に**潜水艦発射弾道ミサイル射出実験を発表**するなど、米韓との緊張を創出する動向がうかがわれました。

また、8月に南北軍事境界線付近での地雷爆発事案を契機として**南北間の軍事的緊張**が高まった際には、韓国軍が11年ぶりに拡声器による宣伝放送を再開し、そのことが原因となり双方が砲撃し合うという事態にまで発展しました。その後、北朝鮮は、韓国との間で緊張緩和に向けて合意に至り、10月には韓国と合意内容の一つである**「離散家族再会事業」を金剛山で実施**するなど、平和的な姿勢を示しましたが、11月には日韓首脳会談等を批判するなど、硬軟両様の外交政策を展開しました。

露朝関係については、27年3月に露朝間で同年を「親善の年」と定めるなど、26年から蜜月関係が引き続いていることがうかがわれました。中朝関係については、10月の「朝鮮労働党創建70周年」記念行事に際して、金正恩第一委員長が久しぶりに訪朝した中国共産党最高幹部と会談したほか、軍事パレードでは中国との血盟関係をアピールするなど、**中朝関係改善に向けた動向**もうかがわれたものの、その後、

金正恩第一委員長による水素爆弾保有発言や中朝親善を目的とした牡丹峰楽団による訪中公演の突然の中止など、依然先行きは不透明なままとなっています。

朝鮮総聯との関係では、^{キムイルソン}金日成生誕103周年を迎え、「在日同胞子女の民主主義的民族教育のため」との名目で北朝鮮が朝鮮総聯に約2億円の教育援助費等を送ったと朝鮮中央放送が報じたほか、外為法違反事件に係る^{ホジョンマン}許宗萬朝鮮総聯議長宅等に対する強制捜査に対して、北朝鮮ウェブサイト「わが民族同士」は、「日本反動らの行為は百倍、千倍の代価を支払うことになるう」などと警告を行うなど、**北朝鮮と朝鮮総聯との密接な関係が継続**しています。



潜水艦発射弾道ミサイルの射出実験として発表された画像（EPA=時事）



朝鮮労働党創建70周年記念軍事パレードにおける中国の劉雲山政治局常務委員（左）と笑顔で手を掲げる金正恩第一委員長（右）（時事）

対日諸工作

朝鮮総聯は、27年4月、外為法違反事件に係る許朝鮮総聯議長宅等に対する強制捜査に関連し、都内において「警察当局の総聯中央議長、副議長宅に対する不当極まりない強制捜査の暴挙を断罪・糾弾する在日朝鮮人中央緊急集会」を開催するなど、抗議・けん制活動を行いました。また、朝鮮学校が高校授業料無償化制度の適用から除外されたことや、朝鮮学校への補助金支給を打ち切る自治体が増加していることを不当であるなどと主張し、**各種宣伝活動や自治体等に対する要請行動**を行いました。

なお、朝鮮総聯中央本部の土地・建物をめぐっては、27年1月に、香川県高松市の不動産業者から山形県酒田市の不動産業者に所有権が移転し、その後、6月に、同社は、会社分割の方法により新たに設立した会社に、朝鮮総聯中央本部の土地・建物に係るものを含め、関東地域における不動産賃貸事業に関する権利義務を継承させました。

対北朝鮮措置

日本政府は、拉致、核、ミサイル問題に関する前向きで具体的な行動を北朝鮮から引き出すため、全ての品目の北朝鮮との間での輸出入禁止等の独自措置(対北朝鮮措置)を講じています。警察では、同措置の実効性を確保するため、18年以降、これまでに**34件の不正輸出入事件を検挙**しており、**27年中**には、

- 壁紙を中国・大連を経由させて北朝鮮向けに不正に輸出した外為法違反事件
 - 北朝鮮産松茸を中国・上海を経由させて不正に輸入した外為法違反事件
- の2件を検挙しました。



北朝鮮産松茸の不正輸入の流れ



不正輸出された壁紙と同種の壁紙が保管されていた倉庫

第3章 外事情勢

北朝鮮による拉致容疑事案

北朝鮮は、14年9月、平壤で行われた日朝首脳会談において、長年否定していた日本人の拉致を初めて認め、謝罪し、10月には5人の拉致被害者が24年ぶりに帰国しましたが、残りの安否不明の方々については、16年5月の第2回日朝首脳会談において、北朝鮮側より、直ちに真相究明のための徹底した調査を再開する旨の明言があったにもかかわらず、いまだ北朝鮮当局から納得のいく説明はありません。

最近では、26年5月の日朝政府間協議において、北朝鮮側は、拉致被害者を含む全ての日本人に関する包括的かつ全面的な調査を行う旨を表明し、7月、特別調査委員会を立ち上げて調査を開始しましたが、北朝鮮側から調査結果の報告はなされておらず、拉致被害者の帰国は実現していません。

警察は、これまでに日本人拉致容疑事案12件17人及び朝鮮籍の姉弟が日本国内から拉致された事案1件2人の計**13件19人を北朝鮮による拉致容疑事案と判断**するとともに、北朝鮮工作員等拉致に関与した**8件11人の逮捕状の発付を得て国際手配**を行っており、更なる実行犯の特定及び指揮命令系統の解明に向けて全力を挙げています。

拉致容疑事案以外にも、警察が**北朝鮮による拉致の可能性を排除できない事案として捜査・調査の対象としている行方不明者の数は全国で876人**（27年12月末日現在）に上っています。

警察では、今後とも、関係機関と緊密に連携を図りながら拉致容疑事案及び北朝鮮による拉致の可能性を排除できない事案の全容解明に向けた捜査・調査を強力に推進し、拉致被害者の家族や国民の期待に応えるよう、全力を尽くすこととしています。

	発生時期	被害者※（ ）内は、当時の年齢	発生場所	国際手配被疑者
北朝鮮による拉致容疑事案	1 昭和49年6月	コ・キョンミ 高敬美さん（7）、コ・ガン 高剛さん（3）	福井県小浜市	ホン・スヘ 洪寿恵こと木下陽子
	2 昭和52年9月	ゆたか 久米 裕さん（52）	石川県鳳至郡 （現 鳳珠郡）	キム・セホ 金世鎬
	3 昭和52年10月	松本 京子さん（29）	鳥取県米子市	
	4 昭和52年11月	横田 めぐみさん（13）	新潟県新潟市	
	5 昭和53年6月頃	田中 実さん（28）	兵庫県神戸市	
	6 昭和53年6月頃	田口 八重子さん（22）	不明	
	7 昭和53年7月	地村 保志さん（23） H14.10帰国 地村（旧姓：濱本）富貴恵さん（23） H14.10帰国	福井県小浜市	シン・グァンス 辛光洙
	8 昭和53年7月	蓮池 薫さん（20） H14.10帰国 蓮池（旧姓：奥土）祐木子さん（22） H14.10帰国	新潟県柏崎市	通称チェ・スン Chol 通称ハン・クムニョン 通称キム・ナムジン
	9 昭和53年8月	市川 修一さん（23） 増元 るみ子さん（24）	鹿児島県日置郡 （現 日置市）	
	10 昭和53年8月	曾我 ひとみさん（19） H14.10帰国 曾我 ミヨシさん（46）	新潟県佐渡郡 （現 佐渡市）	通称キム・ミョンスク
	11 昭和55年5月頃	石岡 とおる 亨さん（22） 松木 薫さん（26）	欧州	森 順子 若林（旧姓：黒田）佐喜子
	12 昭和55年6月	原 ただあき 勲晁さん（43）	宮崎県宮崎市	辛光洙 キム・キルウク 金吉旭
	13 昭和58年7月頃	有本 恵子さん（23）	欧州	魚本（旧姓：安部）公博